

2016 年第 174 号  
(2016.12.9)

## 革新的 ICT ベンチャー企業の創出・支援を目指すファンドへの戦略的 LP 出資の実施 －国内外の有望ベンチャー企業との戦略的提携・協業による新たな事業モデルの創出－

株式会社ジェイティービー（本社：東京都品川区、代表取締役社長：高橋 広行/以下、JTB）は、事業領域の拡大と新たな成長機会の創出を目的に、コーポレートベンチャーキャピタルファンドの豊富な運用実績を持ち、事業会社とベンチャー企業との戦略的マッチングを強みとするグローバル・ブレイン株式会社（以下、GB）が新たに組成する「グローバル・ブレイン 6 号投資事業有限責任組合（以下、GB6 号ファンド）」に戦略的 LP 出資を実施します。

### ◇ 出資の目的

これまでの JTB の既存ルートではリーチできなかった領域から、世界のメガトレンドや最新のテクノロジー情報をいち早く掴み、専門性と革新性の高い技術やサービスを持つ有望ベンチャー企業との戦略的な提携・協業による「社会課題解決に貢献できるビジネスモデル」の実現を目指し、ベンチャーキャピタルファンドへの出資を通じた取り組みを開始します。

### ◇ GB6 号ファンドを通じた JTB の取り組みの概要

GB に、JTB 専属のキャピタリストを配し、特に社会課題解決型事業においてシナジー効果が期待できる有望ベンチャー企業の発掘・投資を行い、ベンチャー企業が持つ革新的なアイデア・テクノロジー・サービス・事業展開スピードと JTB が持つ事業基盤・流通ネットワークを掛け合わせることで、社会に新たな価値を創出することを目指します。

投資対象	JTB グループとの協業が期待できる、又は事業として成長が期待できるベンチャー企業
投資対象地域	日本・北米・アジア諸国を中心に、グローバルに投資
投資対象領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光・インバウンド関連</li> <li>・健康・生活支援サービス関連</li> <li>・B2B・エンタープライズサービス関連</li> </ul>
投資対象技術・サービス	AI、VR、FinTech、ウェアラブル、シェアリング、クラウドサービス、アナリティクスなどの最新技術やサービス

◇ JTB が目指す、主な社会課題解決型事業

1. 観光 ICT 事業

持続的かつ安定的な入域客の確保という社会課題に対して、「AR・VR を活用したプロモーション」「FinTech を活用した決済サービス」「IoT 技術や SNS を活用した情報サービス」などを包括的に提供できるプラットフォームを構築し、「観光振興による地域活性化」に取り組む。

2. 地域包括ケア推進事業

少子高齢化や世帯の単身化という社会課題に対して、「介護保険外の生活支援サービス」「ICT を活用した健康管理・支援」「地域資源を活用したコミュニティづくり」などのサービスを包括的に提供できるプラットフォームを構築し、「住み慣れた地域で快適に暮らせる地域づくり」に取り組む。

3. 地場産業支援事業

地場産業の空洞化といった社会課題に対して、「EC を活用した販路拡大支援」「クラウドサービスを活用した雇用創出」「クラウドファンディングを活用した経営支援」などのサービスを包括的に提供できるプラットフォームを構築し、「地場産業の活性化」に取り組む。

◇ グローバル・ブレイン株式会社の概要

創業	1998 年 1 月
事業内容	ベンチャーキャピタル事業
運用額等	350 億円（うちコーポレートベンチャーキャピタルファンド運用額 165 億円） IPO 社数 9 社 M&A 社数 26 社

◇ グローバル・ブレイン 6 号投資事業有限責任組合の概要

組合の目的	観光・インバウンド産業の競争力強化など社会課題を解決するビジネスの創出・育成を促進し、日本の国際競争力強化はもとよりグローバル経済に貢献する。
運用年数	2026 年 11 月末まで（10 年間）

< 報道関係の方からの問い合わせ先 >

J T B 広報室 0 3 - 5 7 9 6 - 5 8 3 3

(参考)

## 「グローバル・ブレイン 6号投資事業有限責任組合」出資スキーム

